

# 12月



# 校長室だより

平成28年12月 大阪市立淀川中学校 校長 二上和正

## 2年生校外学習



11月18日(金)2年生は校外学習で京都に行きました。各クラス5～7名の班で行動しました。学校から天神橋6丁目まで歩き、電車に乗り、阪急河原町駅で下車し、京都市バス1日乗車券を使って京都市内を散策しました。八坂神社・平安神宮・豊国神社・三十三間堂・西本願寺などを回り、京都水族館に全員集合し、昼食をとりました。生徒たちは京都市内の地図を片手に、目的地まで行くバスの停留所を探したり、時には道を尋ねながら目的地を目指していました。

当日は11月の中ごろということ、紅葉の季節には少し早過ぎましたが、午前中こそ肌寒かったものの秋晴れの散策するには絶好の

天候でした。

三十三間堂は全員が立ち寄る所とし、全員が中に入りました。朝早くから地方からの修学旅行生や外国から来られた観光客でいっぱいでしたが、多くの生徒が千体の観音立像に圧倒されたようで、「よく見ると表情が一つ一つ違うかった。」「本当に木で作られているの、信じられへん。」などなど口々に感想を漏らしていました。

京都に来ると、昔学んだ歴史のできごとが本当に身近に感じます。いまだ歴史を引き継ぎ続け、悠久の心を伝え続ける京都の持つ魅力を感じた1日でした。

## 3年生マナー教室

11月22日(火)都島区ライオンズクラブのご協力を得、3年生を対象にマナー教室を行いました。入試では面接試験を実施している高等学校もあり、本校でも面接の練習を実施していますが、今回は中学校だけでなく、一般の会社が行っているマナー講習の講師もされている方をお招きし、生徒たちにご指導を頂きました。

人は外見ではない。しかし、それは長くつきあってこそ分かるものであって、初対面で相手の内面まで深く感じることはなかなかできません。たいていは身だしなみや表情や仕草などから第一印象で「感じのよい人だ」「礼儀正しい人だ」となります。一方でその時だけ身だしなみを繕っても、すぐにメッキがはげてしまうのも事実です。しかし、形をまねることによって、それが身につき、やがて人の成長、人格の向上につながることもあると思います。講師の方にいすに座るとき、立っている姿勢で右足を少し引いて座ると、自然と背筋がびんと伸び、きれいに見えることを教えていただきました。何気ない所作ですが、自分が相手からどう見えているかを意識しながら、自分の振る舞いを考えることはとても大切なことだと思います。

講師の方が「マナーとは思いやりの心を相手や周囲にあらわすこと」と、お話をされていました。マナーとは相手を喜ばせたい、楽しませたい、明るい気持ちにさせたいなど、自分の振る舞いによって相手がどう思うか、あるいはどう感じるかを想像することが基本となっていると教えていただきました。

生徒たちはこれから大人に近づくにつれ、社会の一員としての振る舞いが求められます。また、高等学校入試、さらには就職する際に面接試験などを経験することもあるでしょう。今回のマナー教室で学んだことをもとに自分を見直し、今後活かしてほしいと思います。



## 12月の主な行事

- 2日(金)小中交流会                      8日(木)1年校外学習  
10日(土)土曜授業(授業参観・人権講演会)                      13日(火)～16日(金)3年進路懇談  
14日(水)～20日(火)(土・日除く)1、2年期末懇談会                      22日(木)終業式

